

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	4		法令を遵守した職員配置を維持しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	個別学習室を設置し、課題に集中できるよう配慮しています。	より多くの方が快適にご利用できるように、レイアウト等を工夫していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		日々の清掃を欠かさず行っています。また学習室・IT活動室など、活動に合わせた空間を設置しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		全職員が会議に参加し、業務改善を進めています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者様のご意見・ご意向を業務に反映させることができるよう、努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		自社ホームページにて公開準備中です。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	利用者・事業所内での評価が主ですが、ホームページやブログ、お便り等によって開かれた事業所を心掛けています。	法令に則り、必要であれば第三者による外部評価を、行っていきたくと考えています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		新人職員に専用研修、全職員に1ヶ月に1度のWEB研修と2ヶ月に1度の全体研修を設けています。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		保護者様の想いを正確に受け止め、その実現に向けた支援計画を立案しています。	

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	順次、標準化されたツールを用いたアセスメントを進めています。	全ての利用者様に対し、標準化されたツールでのアセスメントが実施されるよう、継続します。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	児童、またその保護者様の願いが実現されるよう、具体的な支援内容を設定しています。	事業内では児童、また保護者様の心に寄り添う支援を心掛けていましたが、「地域支援」に関しても、大切に考えていきます。。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		支援計画の内容を職員間で共有し、支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	モニタリング会議を全職員で行い情報共有を図っていますが、細かなプログラムは担当職員が立案しています。	より全体でプログラムを立案する意識を高めます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		毎月イベントを開催し、楽しく通ってもらえるよう、努めています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		個別活動中心ですが、イベントや学習の空き時間等、他児と触れ合う機会をできるだけ設けています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	毎朝、朝礼を実施し情報共有を図っています。	個別支援の詳細すり合わせまでは行っていないので、きめ細やかな会議を目指します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	早急に打ち合わせが必要な案件は終礼時に情報共有を図っています。	支援の振り返りができる時間をさらに確保し、次回の支援に活かしていきたいです。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		指導報告書として、毎支援ごとに記録を作成し、定期的に抜けが無いかをチェックしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		6か月毎にモニタリング会議を実施し、支援計画の見直しを行っています。	
関 係 機 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		会議が実施された際には、児童発達管理責任者及び支援担当者が参加しています。	

や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	各保育園・幼稚園・こども園を中心に、必要に応じ連携をとっています。	公的機関との連携を、さらに深めていきたいです。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2	医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、地域の病院、薬局等へのご挨拶を定期的に行っています。	必要に応じ、安心してご利用いただけるよう、関係機関と連携していきます。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1	医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、地域の病院、薬局等へのご挨拶を定期的に行っています。	必要に応じ、安心してご利用いただけるよう、関係機関と連携していきます。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		頻繁に情報共有や見学をし合い、相互理解を図っています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	送迎時、担任の先生と情報共有する等、相互理解を図っています。	連携頻度を高め、地域全体での支援意識を向上させます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	見学や情報共有を行い、連携をとっています。	定期的な訪問や研修参加を行い、さらに連携を深めています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	誰でも参加可能なイベントを月に1度、催しています。	地域支援の意識を高め、たくさんの方が参加できるイベントを立案していきたいです。
		②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	情報の把握に努めています。
③⑩		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳や口頭にて、毎回の支援状況や発達状況を保護者様と共有しています。	
③⑪		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	都度、保護者様のご相談に対し、アドバイスを行っています。	標準化されたツールはないので、構築していきたいです。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		読み合わせを十分に行い、ご説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		6ヶ月に1度のモニタリング会議に基づき作成した支援計画をご確認・同意いただいています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	都度、保護者様のご相談に対し、アドバイスを行っています。	能動的に、お悩みをお聞きできる機会を設けていきたいです。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	専門講師をお招きし、講演会等を催しています。	より身近に参加できる会を立案していきたいです。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		相談窓口を掲示し、保護者様にお伝えしています。ご相談等、あった際には誠意を持って対応しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月に1度、通信を発行しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		全ての個人情報は鍵付きの書庫等にて、保管しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		必要に応じて、配慮しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	誰でも参加可能なイベントを月に1度、催しています。	イベントチラシの配布を強化する等、地域に開かれた事業所を目指します。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		各種マニュアルを策定し、職員・保護者様への周知を図っています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月に1度、防災会議を開催しています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		ご利用開始時に保護者様へヒアリングし、職員間で情報共有をしています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		ご利用開始時に保護者様へヒアリングし、職員間で情報共有をしています。必要に応じて都度、アンケートを実施しています。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	ヒヤリハット事例集を作成・保管しています。	情報共有を深めていきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		職員研修の実施、マニュアルの遵守などにより、虐待を防止しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		マニュアルに則り、保護者様へ十分な説明を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校

保護者等数（児童数）：9 回収数：6 割合：66.6 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1		手厚い支援を行えるよう、適切な配置を継続します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			1		各活動に合わせて、活動スペースを設定しています。必要に応じて、バリアフリー化も検討します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				・楽しいイベントあり 楽しく通っている。 ・たくさんのイベントをしていただき子供も楽しくお勉強できていると思う。	楽しく通ってもらえる事を第一に、今後もプログラムを工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			2	・幼稚園、その他の支援所と交流してもらっています。	定期的に情報の共有、見学等を行っています。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4			2		保護者様からのご相談等に対し、誠意を持ってご助言・アドバイス等させていただいています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					・連絡ノートにいつも詳しく報告してくれる。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6					・送り迎えの時にお話しできている
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	2		・なくても問題ありません。 保護者様のニーズに合わせて、開催の有無を検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5			1		月に1度のお便り発行、月に2度程度のブログ更新を行っています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5				1	全て鍵付きの書庫等で厳重に管理しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			2		月に1度、防災会議または避難訓練を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6					・とても楽しみにしています。 楽しく通っていただける事業所作りを継続します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。